

## 授業の概要

矯正歯科技工を行なうにあたっては、不正咬合そのものの知識とともに、矯正装置が歯や顎骨をどのように移動させるかを理解し、学習した理論を基本として、矯正装置の製作に必要な知識を修得する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：金曜日 18：00～18：45
- オフィスアワー：納村 泰弘 ([namura.yasuhiro@nihon-u.ac.jp](mailto:namura.yasuhiro@nihon-u.ac.jp)) 金曜日 17：00～18：00
- 成績評価：前期：定期試験（50%）  
後期：定期試験（50%）で評価する。
- 注意事項：教科書を必ず持参すること。
- 授業方法：講義形式，スライドならびにプリントを使用して講義を行う。授業内に平常試験を行うことがある。
- 準備学習：事前に教科書で講義項目を確認しておくこと。
- 準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。
- 実務経験；納村 泰弘：現在，在職している日本大学歯学部附属歯科病院の経験を基に、歯科医師の立場として口腔内で機能させる歯科矯正装置を製作利用し治療する実際の観点から，本教科での内容を講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月6日 納村 泰弘	1. 咬合挙上板 (教) pp.60-62 2. 咬合斜面板 (教) pp.60-62	・咬合挙上板と咬合斜面板の構造，作用機序，適応症，製作機序を説明できる。
第2回9月20日 納村 泰弘	3. 拡大装置 (教) pp.62-64 4. クオードヘリックス (教) pp.64-67	・緩徐拡大法と急速拡大法の違いを理解する。また，可徹式拡大装置と固定式拡大装置の構造，製作機序を説明できる。 ・クオードヘリックスの構造，製作法を述べることができる。
第3回10月18日 納村 泰弘	5. 顎外固定装置 (教) pp.67-71 6. リップバンパー (教) pp.71-72	・ヘッドギア，オトガイ帽装置，上顎前方牽引装置の構造，働き方，適応症を説明できる。 ・リップバンパーという機能的矯正装置の構造と作用機序を説明できる。
第4回11月1日 納村 泰弘	7. 矯正装置のまとめ (教) pp.46-75	・矯正装置の必要条件，分類を列挙できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回 11月15日 納村 泰弘	8. 保定装置 1) ホーレータイプリテーナー 2) ラップアラウンドリテーナー (教) pp. 76-88	<ul style="list-style-type: none"> <li>矯正治療の最終処置である保定の重要性と保定装置の条件を説明できる。</li> </ul>
第6回 11月29日 納村 泰弘	8. 保定装置 3) トゥースポジショナー 4) スプリングリテーナー 5) 犬歯-犬歯間保定装置 (教) pp. 76-88	<ul style="list-style-type: none"> <li>トゥースポジショナーの適応症、製作順序を説明できる。</li> <li>各種の保定装置がどのような不正咬合の動的治療後の保定に適しているかを述べることができる。</li> </ul>
第7回 12月13日 納村 泰弘	9. 後期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期の授業内容における重要事項と新しい項目の再確認ができる。</li> </ul>
第8回 12月27日 納村 泰弘	10. まとめ 11. 確認試験と解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期、後期の授業内容における確認試験を行い、解説を通して、矯正歯科技工の総合的な理解度を判断できる。</li> </ul>